

## ごあいさつ

皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の日本経済は新興国の経済減速の影響がみられたものの堅調な企業業績を反映して、雇用、所得環境の改善が進み、外国人観光客の消費も景気を下支えして景気は緩やかな回復基調で推移しました。それとともにリニア新幹線の着工やMRJ初飛行など明るい話題も多くみられ、今後の日本経済の活性化につながるものと期待しております。

当クラブにおきましては、昨年は9月の集中豪雨による影響で残念ながらクラブ選手権は中止になりましたが、10月には日本ゴルフ事業協会前理事長安倍晋三自由民主党総裁、超党派ゴルフ連盟会長麻生太郎副総裁、同最高顧問衛藤征士郎衆議院議員をはじめとする多数の方々より御祝電並びに祝花をいただき開場40周年記念コンペを多くの皆様方と祝うことができましたことを大変喜ばしく思っております。

又、時期を同じくして、ワールドラグビー大会での日本チームの歴史的活躍と勝利が日本全体を盛り上げ、ラグビーの注目度を高めてくれましたが、当ゴルフ業界におきましても、ゴルフが今年のリオデジャネイロで開かれるオリンピックで112年ぶりに正式競技として採用され、ラグビーの日本チームと同様に日本選手団の活躍が歴史の新たな1ページを作成し、ゴルフへの注目度を高めて次の東京オリンピックへとつなげてくれることを心より願ってやみません。

そしてまた、現在は少子高齢化の影響もあり、日本のゴルファーの中核を成しているのがシニアゴルファーの方々であります。是非、皆様方のご子息あるいはお知り合い等の若い世代の方々と共に来場され、ゴルフというスポーツを伝授されて次の世代を担うゴルファーを育てて行っていただきますこと心より願っております。

シニア人口の方は3000万人を突破しましたが、ゴルフというスポーツは唯一と言ってよいほど年齢、性別にかかわらず家族、友人、仕事関係全ての方々が共に楽しめるスポーツであります。このような事を踏まえまして私どももシニア、レディスゴルファーにも優しいゴルフ場造りとともにいろいろな世代が集い、楽しみ、プレーができるクラブ造りを目指していきたいと思っておりますので、皆様方におかれましては、是非お誘い合わせの上、ご来場いただけますようお願い申し上げますとともに、私も南摩城カントリークラブをより一層発展させるべく、さらに努力を重ねていく所存でございますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

南摩城カントリークラブ  
理事長 岡地 晃嗣